



「青しまうり漬」の販売開始！



7/1 [Thu]

多久市の特産品「青しまうり漬」の販売が今年も始まりました。収穫した中でも上質なウリを酒粕などで浅漬にし、カリッとした歯応えが人気の夏の伝統食品です。

新型コロナウイルスの影響で今年も発送式は中止となり、野菜うり部会の北島一明部会長らが多久市役所を訪れ、横尾俊彦市長に販売開始の報告をされました。

北島部会長は「今のところ天候にも恵まれ、生産量も順調。お茶請けやおかずとして味わってほしい」と笑顔で話されました。

市内ではたくさん館と朋来庵、佐賀市のさが風土館季楽で販売中です。また、報告会では青しまうり漬と同様に、最盛期を迎えたハウスみかんも紹介されました。多久の夏の特産品をご賞味ください。



▲「青しまうり漬」を手笑顔でPRするJAさが佐城多久地区代表理事の牟田和弘さん（左）、北島部会長（右）、横尾市長（中央）



（公財）孔子の里設立30周年を祝う

7/3 [Sat]

公益財団法人孔子の里（理事長：横尾俊彦市長）が財団設立30周年を迎え、記念式典（主催：公益財団法人孔子の里）が中央公民館で開催されました。

式典では横尾理事長が「多くのみなさんからお力添えをいただき30周年を迎えることができた。これからも孔子廟にまつわる歴史の継承や先人たちが築き上げた学びの伝統を継承していく」とあいさつを述べた後、表彰式が行われました。多年にわたって孔子の里の発展振興に尽くされた5人と1団体を表彰。さらに、多久聖廟釈菜へ長年献詩されてきた12人に感謝状が贈られました。受賞者および団体は以下のとおりです。（敬称略）

功労者

- 【個人】石川 忠久（東京都）
公益財団法人斯文会名誉副会長
尾形 節子（北多久町）
前多久市日中友好協会理事長
西村 隆司（北多久町）
前多久市郷土資料館館長
林口 彰（東多久町）
元公益財団法人孔子の里理事
三浦 尚司（福岡県）
福岡県漢詩連盟会長

- 【団体】公益財団法人斯文会（東京都）
（史跡湯島聖堂の維持管理法人）

感謝状

- 尾形善次郎（多久町）・笠原 英子（岡山県）
楠野 修（大阪府）・副島 健三（多久町）
副島 陽子（佐賀市）・谷村 正俊（福岡県）
野口 康子（福岡県）・平今 正道（福岡県）
平今 宗賢（福岡県）・藤川俊二郎（長崎県）
福田登志男（長崎県）・細川 嘉徳（福岡県）



▲受賞者のみなさんと（公財）孔子の里の横尾理事長（後列左）、田中穂積常務理事（後列右）

うめい 嚶鳴講座 in 多久を開催！

記念式典の後には、全国15の有志自治体で構成され、ふるさとの先人をまちづくり、人づくり、心育てに生かすことを目的に活動する嚶鳴協議会が、講演会（主催：多久市教育委員会）を開催しました。

同協議会顧問の吉田公平東洋大学名誉教授が「生きることは学ぶこと～論語と人づくり～」と題して、学び続けることの大切さや知識や技術を共有しながら暮らしていくことの楽しさ、明日に向けてどう生きていくながいかにかに重要かなどを、ご自身の経験談を交えながら話されました。



▲講演された吉田名誉教授